

「まいにち笑顔 みんなが笑顔」



世界で一番歌われている歌

「世界で一番歌われている歌」は何だと思いませんか。

それは、「ハッピーバースデー」です。世界には今約82億人の人がいて、単純に計算すると、毎日2千万人以上の人が誕生日にあたるからです。

今日、誕生日だという人はいますか。(おめでとうございます)

この「ハッピーバースデー」の曲は、今から130年も前にアメリカで幼稚園を経営していた2人の姉妹が、朝、幼稚園児を迎え入れるために作った曲で、もともとは「Good Morning to All」という曲でした。

それが、誰が書き換えたかは分かってはいないのですが、1920年ごろに「Happy Birthday」に置き換えられ、世界各国に広がり、ギネスブックにも登録されました。

では、原曲を聞いてみましょう。

(<https://www.youtube.com/watch?v=co2rB2Ao0KI>)

Good morning to you, Good morning to you,
Good morning, dear children, Good morning to all.

「すべての子供たちに素敵な朝を」そんな思いのこもった歌ですが、この元の歌詞だったら、誕生日に限らず、みんなでもっと歌えて、もっと「世界で一番歌われている歌」になっていたかもしれません。

しかし、世界ではこれが当たり前ではない国もあります。食べるものが充分になかったり、戦争が起こっていたりして、明日の朝まで生きているか分からない国もあります。今の日本ではそういうことはありませんが、毎朝、当たり前のように学校に来られる喜びを「おはようございます」や「Good morning」の言葉に込めて挨拶ができると素敵だなと思います。ちなみに中国語では「早上好(zǎo shàng hǎo)」といいます。

今日も、校門のところで皆さんと挨拶をしましたが、明日も、明後日も、これからも当たり前の幸せを大切に、みんなで挨拶をしていきましょう。